

編 集 後 記

川崎市立看護短期大学紀要第12巻をお届けします。第12巻には9編の論文を掲載しました。内容的には今年度も、看護関係の実習や演習などに関連したテーマを取り扱った論文が中心になっています。看護系助手の職務とジレンマをめぐる論文は、看護系大学の職務環境について一つの問題提起を行っています。その他、精神科看護における自己決定に関連する論文やアロマセラピーに関する講演会をめぐる論文などが収められています。いずれも執筆者の日頃の研究や教育活動への真摯な取り組みを示すものです。

なお査読や論文種別の導入など昨年度までの成果をうけて、今年度は査読の手引きなどについて細部の改良を行いました。入稿後には、論文執筆者や査読審査員等を対象に紀要についてのアンケートを実施し、今後の紀要の方向性をさぐりました。

本学の紀要について各方面からのご意見やご批評をいただき、さらに内容の充実を図ってゆきたいと考えております。

最後に、この度の紀要発刊にあたりご協力いただいた査読審査員をはじめ、関係各位に感謝申し上げます。

(岩倉 孝明 記)

紀要・年報編集委員会

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 岩倉 孝明 |
| 副委員長 | 美田 誠二 |
| 委員 | 小野 敏子 |
| 委員 | 小濱 優子 |
| 委員 | 井上 聡子 |
| 事務局 | 野村 充 |
| 事務局 | 伊藤 京子 |